

金城学院大学 シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	37290006
授業科目名(Course name)	声楽（3）		
担当者(Instructors)	長屋 弘子		
開設学部学科(Department)	文学部 音楽芸術学科	科目分類番号(Course classification number)	262
開講クラス(Class)	音 2 声	開講形態 (Course format)	実技
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 日付不定型	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))	5,000	履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	
他学部他学科生履修不可(No other undergraduate departments students can study)			

■授業の概要(Course outline)
さまざまな作曲家や音楽様式の作品を演奏するためには、正しい発声の会得や発音、そして詩の解釈は必要不可欠である。この授業では個人レッスンでベルカント唱法を理解していき、歌唱時の姿勢や呼吸、息の運び方など、基礎的なことを基に、自分の体と心に向きあいながら、無理のない自然な声と、更に、それを伴う且つ楽曲に適した音楽表現を探究していく。

■到達目標(Course goals)
イタリア近代作品を基に、ベルカント唱法の研究と基礎能力を修得している。

■履修上の留意点(Important points)

■学位授与方針 (Diploma policy)
1. 知識・理解 音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。○
2. 汎用的技能 音楽芸術の実技と理論を通じて身につけた感性と思考力を用いて、物事を的確に分析し考察することができる。○

■授業計画(Lesson plan)
1. トスティ歌曲研究 1 『Ancora!』 イタリア語の持つ情緒やイントネーションの研究 1 楽曲研究
2. トスティ歌曲研究 2 『Ancora!』 イタリア語の持つ情緒やイントネーションの研究 2 実践
3. トスティ歌曲研究 3 『Sogno』 外へ向かったの音楽表現研究 1 楽曲研究
4. トスティ歌曲研究 4 『Sogno』 外へ向かったの音楽表現研究 2 実践
5. トスティ歌曲研究 5 『Tristezza』 速度記号の変化と音楽表現研究 1 楽曲研究
6. トスティ歌曲研究 6 『Tristezza』 速度記号の変化と音楽表現研究 2 実践
7. ベッリーニ歌曲研究 1 『Malinconia』 ベッリーニの旋律の美しさと表現研究 1 楽曲研究
8. ベッリーニ歌曲研究 2 『Malinconia』 ベッリーニの旋律の美しさと表現研究 2 実践
9. ベッリーニ歌曲研究 3 『Vaga lune, che inargenti』 アーティキュレーションとフレージング研究 1 楽曲研究
10. ベッリーニ歌曲研究 4 『Vaga lune, che inargenti』 アーティキュレーションとフレージング研究 2 実践

11. ベッリーニ歌曲研究5 『Ma rendi pur contento』 フェルマータの表現研究1 楽曲研究
12. ベッリーニ歌曲研究6 『Ma rendi pur contento』 フェルマータの表現研究2 実践
13. ピアノ伴奏同伴での試験曲のレッスン～お互いの呼吸を感じて～
14. ピアノ伴奏同伴での試験曲のレッスン～試験をこころがけて～
15. 授業内実技試験と講評

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)
毎回の授業で課題をみつけ日々練習と研究をする

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)
レッスンで学んだことや課題を持ち帰り、真摯に自分の技術や音楽表現のスキルアップをはかろう！ フィードバックは授業時に随時対応する。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)
コンコーネ50番、パノフカ、ヴァツカイなどの声楽教則本 トスティ、ベッリーニ、ドナウディ、ドニゼッティ等の歌曲集 ＊学生の技量と進度に応じて

■評価方法(Evaluation method)
実技試験 70% 授業への取り組み 30%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)
授業時間前後やKmail等随時受け付ける